

## 認知症の正しい理解と高齢者虐待防止について セミナーを開催します

高齢者の方が認知症になっても地域で安心して生活できるよう、認知症と高齢者虐待防止についてのセミナーを開催します。

前半は認知症についての講演、後半は高齢者虐待防止について（認知症は高齢者虐待の大きなリスク要因です）と2部構成になっております。

### ① 認知症の正しい理解

講師：山口 潔 氏

（医師 東京大学医学部附属病院  
地域医療連携部 助教）



### ② 高齢者虐待防止について

講師：梶川 義人 氏

（日本高齢者虐待防止センター 事務局長）

◆ 日時 平成24年2月20日（月）午後2時～4時

◆ 場所 台東区役所 10階 1001会議室

◆ 定員 140名（先着順）

◆ 問い合わせ・申し込み

台東区役所 高齢福祉課

総合相談・地域支援担当

どなたでも参加できますので  
お気軽にお申し込みください。  
（参加費無料）

☎5246-1222

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

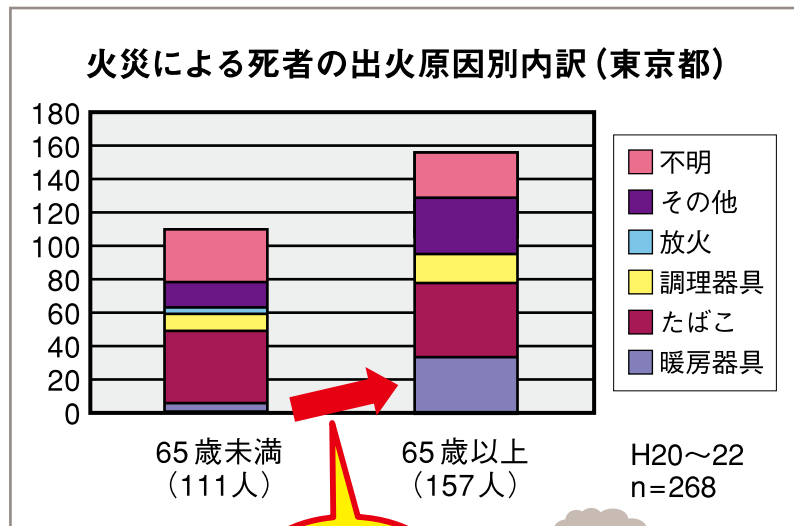
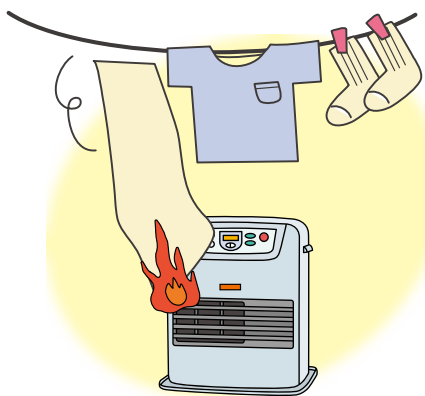
# 暖房器具の取扱いに注意しましょう

火災による死者の高齢者の割合は全体の5割以上であり、高齢者は火災発生時に生死の危機にさらされることが多いことが分かっています。また、暖房器具やガステーブル等が出火原因の火災による死者は高齢者に特に多く、その多くが、器具の不適切な使用によるものです。

## 【データからみる高齢者の実態】

平成20年から22年の3年間で火災により亡くなった方268人のうち157人が高齢者でした。

また、高齢者は65歳未満の人に比べ暖房器具からの火災による死者が大幅に増加していることが分かりました。



約5倍

## 暖房器具の適切な取扱いを心がけましょう

### 注意点

- 燃えやすいものは近くに置かない
- 外出・就寝前には火を消す
- ストーブの上には洗濯物を干さない

冬場は高齢者が入浴中におぼれる事故も多く発生しております。入浴中は一人でいることが多いため、事故が起きても発見が遅れ大事にいたることがあります。

風呂場と居室の温度差を少なくしたり、浴槽につかる前にしっかりと体にお湯をかけるなど、体に負担をかけないようにしましょう。



※この記事は、東京消防庁上野消防署に資料提供いただきました